

第 32 号

発行/社会福祉法人 素心会
責任者/彦坂 健一郎
〒259-0103
神奈川県中郡大磯町虫窪24番地
TEL.0463-71-1255

大磯町福祉ミニショップ開店



<賛助会員募集中！>

- ・運営費や販売している障害者のお給料に使われます。
- ・年1口以上(1口1,000円)

※詳細は素心会 浅見・北村まで。

開店時間は
11時～15時
(定休日は月曜日)

場所
大磯町ふれあい会館
☎ 0463-61-2413



店内には、素心会の木工・紙き製品のほか、野菜・クッキー・お茶やのり等幅広い品物が揃っています。また、素心会の利用者が、毎週水曜日に販売員として活躍しています。ぜひ一度、お立ち寄り下さい。

虫窪24番地

愛車がまた故障した。それも、出勤途中に突然エンジンが止まってしまった。朝の交通量の多い時間、道路の真ん中で。私は滝のような汗をかきながら、通りすがりの高校生に助けを求め、何とか道の端まで一緒に車を押し。茶髪の今どきの高校生なのに優しい少年だ。

いやいや、高校生に感心している場合ではない。実はこの愛車、一年前にも同様の失態を晒している。その時は二週間近く工場に入院し、私の月給に近い治療費を支払われた。今度は一体、どのくらい入院し、費用がかかるのだろうか……。

まわりの人達はその話を聞くと、口をそろえて「寿命だね、買い換えれば？」と言う。甥っ子(三歳)までも。自分でもそう思う。出勤前に着替えなければならぬほど汗をかいてまでこだわった車ではないと思う。思うが自分が初めて購入した車(中古だけど)。もうしばらく、一緒に居たい気がする。(内山泰祐)

素心会後援会

「障害のある人やお年寄りに優しい町はすべての人に対しても優しい町である。」
私たちと共に福祉を考え支え、参加して優しい町づくりを目指しませんか

会費は個人 年一口1,000円です。
団体・会社 # 10,000円
会員には新聞「そしん」が郵送されます。

その他にも、納涼祭や秋祭り、ボランティア奉仕日などのご案内をお届けします。後援会では会員の方に無理のない、いろいろな協力や参加のかたちを考えております。

素心会の後援会の会員を募集しています。
「希望の方は事務局まで」ご連絡ください。

①銀行振込は
中南信用金庫本 店 011-0350220
横浜 銀行 大磯支店 651-1109788
さがみ信用金庫 国府支店 030-0017306

②郵便振替は
どこの郵便局でも00270-0-19507です。

③口座名は
社会福祉法人素心会後援会
会長 鈴野七郎
※新しく会員になる方はご住所を電話等で知らせていただくようお願いいたします。

事務局 〒259-0103
神奈川県中郡大磯町虫窪24番地

素心会内・担当 萩原/高瀬
TEL.0463-71-1255 FAX.73-0009
(現在会員数) **266**名

- ◎作業の補助(検品等)
(月曜)金曜
- ◎ベッドメイキング・シーツ交換(月曜PM3時30分～4時30分)
- ◎散歩・外出・旅行などの付添(通年)
- ◎特技を生かした活動(楽器演奏・手品・スポーツなど)(土・日曜日)
- ◎行事手伝い
(8月納涼祭・10月秋祭りなど)
- ◎歩行付添い

- 森脇 豊 様
加藤 誠 様
栗石 照子 様
原田 靖子 様
益満 美紀子 様
山口 直子 様
磯崎 教子 様
小野寺友音 様
他3名様
- 相原 素女 様
笹原 敬俊 様
熊倉 節子 様
清水 和子 様
杉山 三恵子 様
戸井 和美 様
花澤 玲子 様
堀内 雅子 様
- カトリック大磯教会様
東海ワークキャンプ様
ボランティア素心様
ワークマン様
- ご協力ありがとうございました。

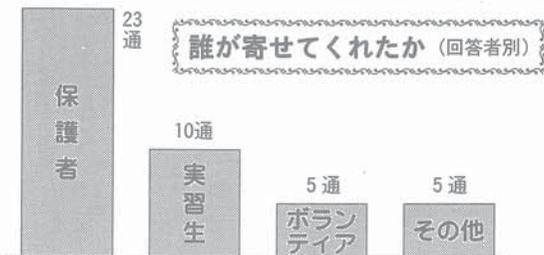
- ### 素心学院
- ### 素心デイセンター
- ### 行事のお知らせ
- ＜秋まつり＞
素心学院 デイセンター
(日時)一〇月八日(月)
一〇時～一四時三〇分
(場所)素心学院グラウンド
プログラム
午前 玉投げ・パン食い競争など、ゲーム
午後 模擬店・大磯中学吹奏楽演奏など
- ◎学院行事
《ウォーキング大会》10/31
《旅行》11/27・28
《クリスマス会》12/21
◎デイセンター行事
《キャンプ旅行》9/28・29
《遊園地旅行》10/19・20
《温泉旅行》12/14・15
《忘年会》12/28
《新年会》1/7
《成人式》1/12
《温泉旅行》2/15・16
- ◇心創展(予定)
2/24 29平塚美術館予定

この新聞が発行されるのは夏。花火の季節ですね。思い出すのは故郷の北海道です。幼い頃、満天の星空に手持ち花火を向けて星を繋いで絵を描くのが大好きでした。(浅野)

どよんとした空にシャキッと月が浮かんでました。私は空でしようか月でしようか。いえいえ、私は人でした。あるがままにと願いつける事だけによって、私は人でした。(照井)

六才の娘がまた朝顔が勢いよく伸びている。十ヶ月で歩き出した気性の激しい次女も一才を過ぎた。朝顔と娘達の成長をダブらせてしまう今日この頃である。(高瀬)

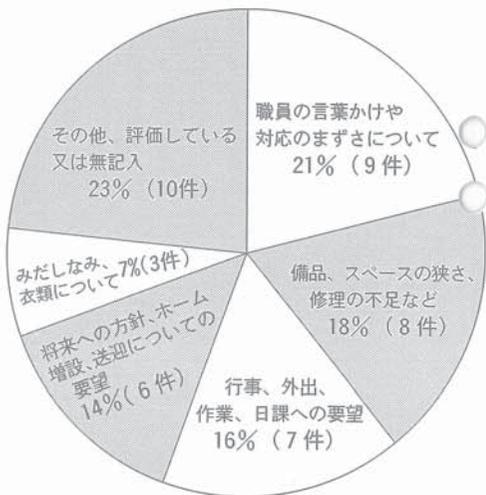
32号のそしん新聞はいかがでしたか。若干ですが新聞の活字が大きくになりました。「特集」をはじめ、皆様のご感想をお聞かせ下さい。(晴美)



平成12年5月から、平成13年3月までに、寄せられたアンケート数は43通でした。内容は次の通りでした。

?? 『アンケートの結果は?』

どんな内容か



?? 『利用者からの要望や苦情はどうなっているの?』

重要です。

ここが一番大事であり、又難しい点でもあります。利用者にも、このしくみを伝えていますが、あらましを理解し、文章で意志を表わせる人は障害のハンデがあり、ほとんどいません。職員が、日常業務の中で、利用者の表情や会話の中から『思い』をくみとり、要望や苦情として組み立て直す姿勢が、何としても必要

食事のメニューや座席、外出先、衣類の好み、クラブの選択、居室の同居者、グループホームでの利用者会議など、できることは今までも実施してきていますが、更に、こまやかな観察や聞きとりが、私達職員に専門性として求められていると思います。



○県社協運営「適性化委員会」
○県知的障害団体連合会「あおぞらマン」

?? 『何か、少しでも変わったの?』



変わったことは、職員の言葉かけがきつ、出入口の施錠管理・シーツの在庫不足・ボランティアとの連絡不足などについて、改善が見られたと考えています。変えられなかったこととしては、ベーパータオルをやめ個々のハンカチ持参・休日の外出増・少人数の泊旅行・女子ロボイーの拡張などです。

?? 『素心会だけのしくみの?』

違います。全国的にしくみ作りがはじまっています。老人・保育・障害とすべての福祉の分野で、義務付けられています。

○県社協運営「適性化委員会」
○県知的障害団体連合会「あおぞらマン」

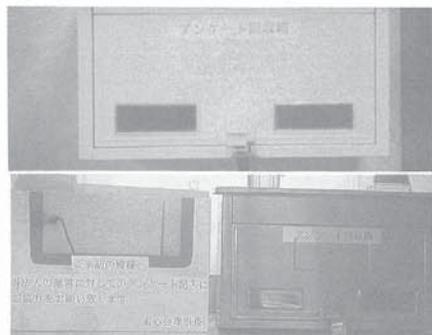
特集

素心会の苦情・要望の解決への取り組み

素心会常務理事 彦坂 健一郎

?? 『何をはじめたのか?』

利用者や関係者の方からの、苦情や要望を、積極的に「聞き」、「解決」する為の、しくみを作りました。具体的には「苦情」について、誰が窓口になり、誰が責任をもって、どういう手順で解決をめざすかを定め、文書で明示しました。



『要望』については、アンケート箱を置き、多くの意見をもらえるよう、保護者やボランティア、実習生に対し、積極的にアンケート用紙を配り、記入をお願いしています。

?? 『今まで何もしていなかったの?』

皆様も、ぜひこのアンケートにご協力いただき、私共職員の視点からは、見落としがちな事や、素直な意見をお寄せいただきたく、よろしくお願ひいたします。

今までは、職員が日常の業務の中で、利用者や保護者、ボランティアから聞き取ったり、意見をもらっていました。このことは、今後大事なこととして、引き続き行なっていきますが、より積極的に、意見や要望をもらい、運営に活かしていきたい、と考えた上での、しくみ作りと考えて下さい。

平成12年11月12日

各位
社会福祉法人 素心会
理事長 遠近 敦英

「苦情等申出窓口」の設置について
当法人では、利用者、その家族等からのサービスに関する苦情、要望、相談に適切に対応するため、「素心会福祉サービスに係る利用者等からの苦情等の対応に関する規程」を設け、体制を整えました。規定に基づき次のとおり、苦情解決責任者及び苦情受付担当者を設け、苦情等の解決に努めることと致しましたので、お知らせ致します。

なお、苦情解決に社会性、客観性を確保するため第三者委員をお願いしております。直接、第三者委員においても苦情等の受付を行う他、御希望により、申し受けた苦情を第三者委員を交えて協議することもできます。

- (苦情等申出窓口)
1. 受付担当者 吉住 松代 (素心学院指導課長)
北村 陽子 (素心デイセンター指導課長)
 2. 苦情等解決責任者 彦坂健一郎 (素心学院施設長)
伊藤 倫博 (素心デイセンター施設長)
 3. 第三者委員 飯田 勇 先生 (学識経験者)
〒259-1216 平塚市入野447
0463-31-9578
近藤 弘 先生 (社会福祉士)
〒243-0413 海老名市国分寺台2-1-17
046-233-5991
総合相模更生病院 042-752-1894

- (苦情等解決の方法)
- ①苦情等の申し入れは、面接、電話、書面等により苦情受付担当者(または第三者委員)が、随時お受け致します。
 - ②苦情等解決責任者は、苦情等を申し出られた方と誠意を持って話し合い、解決に努めます。
- 〒259-0103 中郡大町町虫窪24
社会福祉法人素心会
素心学院 0463-71-1255
素心デイセンター 0463-71-1256

〈アンケート用紙〉

アンケートの記入及び苦情申し出にご協力をお願いします
私たち職員は、利用者の福祉向上をめざし日々努力を重ねていますが、まだまだ気づかない点も多くあると考えています。施設運営全般について、皆様方の目から見てお気づきの点があれば、非お教え頂きたく、ご協力をお願いする次第です。
下記のアンケート用紙にご記入の上、封筒に入れ、封をして玄関入り口のアンケート箱にお入れください。
開封は法人常務理事が直接行い、必要な調査と改善策を考え実施します。結果につきましては、統計数値により法人広報誌「そしん」にて報告致します。
どうぞよろしくお願ひ致します。

- (1)アンケート 記入日 平成 年 月 日
1. 利用者の率直な声や、利用者がどのようなことを望んでいるかについて、お気づきの事があればご記入ください。
 2. 職員の対応や、運営全般について、改善した方がよいと感じる事があればご記入ください。
 3. さしつかえなければ、あなたの所属を〇印で囲んでください。
・保護者、家族 ・実習生 ・ボランティア ・その他の方
- (2)苦情申し出 (苦情としてお申し出になる場合は、必ずご連絡先等を記入してください。当法人の福祉サービスに係る利用者等からの苦情等の対応に関する規定にもついて処理致します。)
1. 苦情内容
・ご連絡先
・ご氏名
- ご協力有難うございました。
社会福祉法人 素心会

??『何でも解決できるの??』

残念ですがNoと言わざるを得ません。

物理的な問題には、必ずお金が必要となります。又職員の意識の問題も『わかりましたあ!』と言ってスグに身につくものでもありません。

限られたお金のどこを削り、節約し、どこへ回すかを考え、実行しなければなら

りません。節約を執行し、削ったことのリスクを回避し、はじめて使えるお金が生じます。職員の意識にしても、長い間、措置制度の中で、利用者だけでなく職員の身分も、ある意味で保護されてきましたので、急に変わりづらい面があります。

前途多難ですが、しかし、この今の流れの中で、職員が施設がどう変っていくのか、いけるのかという点で

この今の流れの中で、職員が施設がどう変っていくのか、いけるのかという点で



福祉を担う人、法人としての真価が問われるのだと思っています。

一つでも多くの解決をめざし、創意工夫と、意識の転換、しつこい努力が必要です。又、現状ではできないことなどについては、こういう理由で「できません」とはつきり、かつていねいに説明することが、大事であると思います。

??『福祉の流れが変ってきているの??』

その通りです。

今までも『利用者の為に』という思いでやってきましたが、その点をより明確にする為に、従来の措置制度から契約制度へ国のしくみが変わります。あと一年半で突入です。この流れに乗り遅れないようにと、素心会では次の六つのプロジェクトチームを作り、検討をはじめていきます。

- A ↓ 事業内容の検討と再構築
- B ↓ 素心学院本館の再整



C ↓ グループホームの整備
D ↓ サービス内容の見直し・苦情解決のしくみ・サービスマニュアルと評価・契約書・ライフプランの作成
E ↓ 新会計基準の作成
F ↓ 職員研修制度の確立
他 ↓ リスクマネージメント体制整備・人事管理システムの構築
素心会の現状を、ありのままにご説明させていただきました。

??『一階フロアの開放について何??』

素心学院の男性の寮の一階は、比較的障害の程度の重い方のフロアです。2カ所の出入口には

方で、すべての掲示物ははずしてしまふ趣味の方や、他フロアの人の人間関係の緊張さに戸惑っている人など、様々な課題も生じています。職員の人数が無限に確保できるのであれば『もっとも』

管理をしてきていました。が、実習生からの『刑務所みたい』というアンケートの意見をきっかけに、再度3カ月にわたる検討を重ね、今年の一月にこのドアの1カ所を、朝から夜まで、原則的に、施錠しないことになりました。従来も、時間を決め、職員を増配置してドアを開けることは行なってきましたが、終日の対応は、はじめのことです。一階フロアの利用者の行動範囲がぐっと広くなりました。多くの人とふれ合い、自由な空間が広がったことはとても良いことと感じています。一

と』と思いますが、現状では、今が精一杯のところでは、安全と安心と自由を確保することの、何と難しいことか、と思います。

素心デイセンター クラブ紹介

4月から5名の講師の方々によるクラブ活動が始まりました。「今日は何クラブ? 明日は?」みんなの目が輝きます。作業と並行して行われるのでその日の気分によってクラブに参加したり、作業したりと自分で選ぶ事が出来ます。活動時間は一時間。講師一名、利用者十名前後の少人数で行われます。場所は休憩室なので広い空間で、のびのびと出来るのも良いところ。また、職員によるフリークラブも随時行い盛りだくさんな内容です。

そんなクラブの風景をちょっとのぞいてみましょう。



パーカッション
パーカッションニストの片倉義人先生は、毎週木曜日色々な打楽器をたくさん持ってきてくれます。ボンゴ、コンガ、アゴゴ……タンポリンは知ってるけどタンポリンって何? 始めは緊張顔の参加者もいざ楽器を手に入ると、いつのまにか立ち上がり体中へ心の底から楽しむ! 心が一番なのです。



しよどろ

ここは利用者四〜五名で落ちついた雰囲気。書道クラブ……かと思えば、とても元気な清田裕子先生の声が響いています。水だけで何度も書ける不思議な紙で練習したら、思い思いの字を墨汁で書いていく。「見て! 見て!」とステキな作品を持ち上げ嬉しそう。月に2回なので、次のクラブが待ちどおしいですね。



ボクシング

初めのうちは「打つ」ということにとまどいもある様でしたが、今ではミットを持つ手が痛いほど強いパンチが打てるようになりました。

4月からサンドバックも購入して頂き益々活気づいてきました。個性あふれるパンチ、プロ顔負けのパンチ、とても皆さん楽しんでやっています。今後も驚くような新パンチが出ることを期待し、一緒に頑張っていきたいです。

(講師 沢井美和)



おんがく



水曜日は小山田ひろ子先生と尾形香織先生(交互に)による音楽クラブです。歌やリズム遊びはもちろん、音に合わせて体操やダンスをしたり発声練習や合奏をしています。

リラクゼーションタイムは、先生がバッハやショパンを電子ピアノで弾いています。そうかと思えば演歌やアニメソングまでも。リクエストが多くて先生もたじたじ……。

家族 ペンリレ



高 智子

最近精神障害者や知的障害者による凶悪な事件が、連日テレビや新聞等で報道されています。そしてキャスターは言います「変な人を見かけたらずく連絡を」と……

かくて我息子は五月のある日スーパーマーケットで男性から「変な男がいる!!」

と呼ばれてしまいました。奇声を発し手をパチパチしながら駆け出す様子は、どう見ても「変な人」そのものです。

昨年二月に入所させていただけました。早過ぎるかと、迷いはありましたが、毎日のめまぐるしい動きについて行くのが精一杯の親の元よりも若い職員の方々にお願いする方がと決心しました。

班で出かけるハイキング・

四月七日、大磯町ゲートボール連合事務所の飯島様にお誘いいただき、桜の花満開の馬場公園で開催された、お花見大会に参加いたしました。

参加した利用者、ささんかホームの丹羽さん、大木さん、岡島さん、椎名さん、福島さん、素心学院の石塚さん、堀さん、杉浦さん、小林さんです。

初めのうちは、思っようにゲートに入らず、がっかりする様子

も見られましたが、試合中だけでなく待つている時間にも、ゲートボール連合の方々に熱い指導を受け、最終ゲームでは、勝利を味あわせてもらい、利用者は大喜びでした。

素心学院とゲートボールのつながりは、昨年、美化キャンパインで馬場公園の清掃をした時に、ゲートボール連合の伊勢田様にささかホームの利用者を誘っていただいた事が始まりです。七月より素心学院の横にある若田記念館において一ヶ月に一回お忙しい時間をさして練習を見ていただきました。そして十一月より素心学院の利用者も参加するようになりまし



練習では大変熱心に指導をいただき、又今回の大会も企画していただき、大変感謝しております。

私も利用者と一緒に練習に参加していますが、プレーする前

パーさん達は若い人達で、当日初対面にもかかわらず障害者を理解しようとする一生懸命さには心打たれました。

私達は家族だけでは障害者である息子を育てられませんでした。生まれてから二十数年間、大勢の皆様にお世話になりました。心からお礼を申しあげると共にこれからもよろしくお願ひ致します。

お年寄りのスポーツだと思っただけでしたが、実際にプレーすると、難し、奥深さ、何よりもチームプレイというところが、素晴らしい競技であると感じました。

利用者は、今大会にて、ゲートを通過する喜び、地域の皆様とふれあう楽しさ、チームとしての勝利の喜び等、たくさん喜び、楽しみを一日で味わえたと思います。



今年もおいしいおそばをありがとうごさいます。

「おそばはいかがですか」「はい。お願いします。」

五月二十三日、大磯料理旅館・飲食店組合の皆様が来院され、昼食に、おそばを御馳走して下さいました。毎年この時期になるとこ来院頂き利用者の楽しい恒例行事になっています。ありがとうございました。



〈クラブ活動で製作した利用者の作品がいろいろな場面で大活躍中です!〉

☆「バリアフリーアート2001カレンダー」に沢井さんの作品が採用されました。

☆「平塚ふじみ園」から依頼があり、園内にあるギャラリーに7月1ヶ月間、陶芸と絵画の作品を展示します。

「S・E・N・S」というグループが7月から始まったTBSのドラマ「マリア」のテーマ曲を担当していますが、そのCDのジャケットに採用されることが決まりました。



☆「日本児童・青年バリアフリーアート英国展」に絵画クラブの作品を応募しました。

☆林さんの絵画が名古屋にあるギャラリー「早蕨」のオーナーの方の目にとまり、是非林さんの個展を開催させて欲しいと申し出がありました。学院としてありがたく申し出を受ける事になりました

林さんの個展が7月20日から17日間名古屋で開催されます。

このように素心学院利用者の作品がいろいろな場所や場面で高い評価を受けています。

第18回神奈川県ゆうあいピック大会

六月三日、日曜日。大変暑い中で行われた第18回ゆうあいピック大会は、多くの大会役員・ボランティア団体の協力を得て盛大に開催された。

今回の大会は、サッカー・ボール競技十二名、陸上競技(25・50m走・ソフトボール投げ)二十名が参加した。学院の参加者には今大会最年長のY・Kさんが女子25m走に参加した。力強く激走していた。サッカーは、互いにゴールをめざし、前大会は全敗に終わったが今大会は三戦中二勝をあげる事が出来た。これも日頃鍛えた練習の結果と思う。こうしたスポーツ活動の集いを通じてこれか



らも利用者さんの意欲に沿った社会参加をサポートしていきたい。



平成12年度社会福祉法人素心会決算の状況

(単位：千円)

会計区分	貸借対照表		収支計算書					
	借方	貸方	収入	支出				
本部	流動資産	4,875	8	事務費支出	4,358			
	固定資産	768,371	195,650	寄付金収入	19,537			
部会			繰入金収入	13,272	元利償還金	44,695		
			引当金	0	繰入金支出	0		
			基金	762,871	雑支出	0		
			積立金	-190,150	固定負債取得費	0		
			繰越金	-4,867	積立金繰入	0		
計	773,246	773,246	借入金収入	0	当期繰越金	3,227		
			積立金戻入	0				
施設(学院)	流動資産	24,770	6,227	事務費収入	161,289	事務費支出	243,000	
	固定資産	118,064	48,500	事業費収入	87,482	事業費支出	60,043	
			運用財産	69,564	補助金収入	30,493	繰入金支出	4,593
			繰越金	18,543	利用者負担金収入	432	引当金支出	0
	計	142,834	142,834	寄付金収入	0	当期繰越金	11,267	
			繰入金収入	32,759				
			雑収入	5,728				
			引当金戻入	1,000				
計			計	319,183	計	319,183		
施設(子イ)	流動資産	14,022	2,071	事務費収入	57,924	事務費支出	70,548	
	固定資産	14,032	0	事業費収入	8,800	事業費支出	14,121	
			運用財産	14,033	補助金収入	11,870	繰入金支出	2,000
			繰越金	11,950	利用者負担金収入	170	引当金支出	0
	計	28,054	28,054	寄付金収入	1,150	当期繰越金	8,000	
			繰入金収入	11,935				
			雑収入	2,977				
計			計	94,826	計	94,826		
ホ	流動資産	8,841	7	事務費収入	18,457	事務費支出	11,990	
	固定資産	7,072	5,000	事業費収入	8,123	事業費支出	8,123	
ホ			引当金	2,072	補助金収入	5,800	繰入金支出	5,800
			運用財産	8,834	利用者負担金収入	0	引当金支出	0
			繰越金	0	寄付金収入	4,092	当期繰越金	0
計	15,913	15,913	繰入金収入	11,548	雑収入	0		
計			計	30,005	計	30,005		

平成12年度社会福祉法人素心会事業報告

1. 法人の概要

名称	しゃがいふくしほうじん そんかい 社会福祉法人 素心会	主たる事務所の所在地	神奈川県中郡大磯町虫窪2-4番地
代表者	理事長 遠近 教英	役員	理事 10名 監事 2名
法人認可年月日	昭和41年1月10日	法人認可番号	厚生省児 第4号

2. 法人の行う事業

事業の種類	施設種別・名称	施設長	現員(定員)	職員数
第一種社会福祉事業	知的障害者入所更生施設 素心学院	彦坂 健一郎	75人(75人)	53人
第一種社会福祉事業	知的障害者通所更生施設 素心デイサービス	伊藤 倫博	40人(40人)	25人
第二種社会福祉事業	知的障害者グループホーム さざんかホーム他	彦坂 健一郎	16人(16人)	8人
その他の第二種社会福祉事業	神奈川県障害児者デイサービス事業、神奈川県障害児者在宅支援相談事業			

3. 主な活動状況

- (1) 理事会の開催
 (2) 中期事業計画の見直し
 (3) 施設整備特別委員会の設置

予算、決算、役員改選、利用者等からの苦情等の対応に関する規程の制定等について4回の理事会を開催した。国の社会福祉基礎構造改革、法改正に鑑み、法人中期事業計画を見直し時代の変化に柔軟に対応できるよう検討を開始した。

(3) 施設整備特別委員会の設置
 素心学院の老朽化改善計画を計画的に進めるため、法人内に施設整備特別委員会を設置した。

- (1) 素心学院の運営
 (2) 素心デイサービスの運営
 (6) グループホームの運営

- ①高齢者、重度者に対応するための体制整備、②施設管理の見直し③利用者への情報提供の工夫等
 ①デイサービス事業の開始②クラブ活動の開始③作業体制の見直し④家族との連絡の強化
 ①高齢者への対応(デイサービスへの通所)、②職場訪問の強化、③利用者主体の生活(利用者会議の開催)

社会福祉法人素心会財産目録

平成13年3月31日

1 資産の部

(1) 基本財産 金 960,048,471 円也

内 土地 2,004,286 円也
 所在地 神奈川県中郡大磯町虫窪字大下田2-4番地他

内 建物 618,570,000 円也
 所在地 神奈川県中郡大磯町虫窪字大下田2-4番地
 鉄筋コンクリート及び鉄筋コンクリート造2階建他

内 建物 105,099,000 円也
 所在地 神奈川県中郡大磯町虫窪字大下田2-4番地
 木造7㎡造瓦葺平屋建他

内 建物 339,474,185 円也
 所在地 神奈川県中郡大磯町虫窪字大下田2-4番地
 木造7㎡造瓦葺平屋建他

内 固定資産物品 56,573,245 円也
 所在地 神奈川県中郡大磯町虫窪字大下田2-4番地
 木造7㎡造瓦葺平屋建他

内 現金 91,925,800 円也
 所在地 神奈川県中郡大磯町虫窪字大下田2-4番地
 木造7㎡造瓦葺平屋建他

内 現金 306,889 円也
 所在地 神奈川県中郡大磯町虫窪字大下田2-4番地
 木造7㎡造瓦葺平屋建他

内 現金 46,000,964 円也
 所在地 神奈川県中郡大磯町虫窪字大下田2-4番地
 木造7㎡造瓦葺平屋建他

内 現金 69,000 円也
 所在地 神奈川県中郡大磯町虫窪字大下田2-4番地
 木造7㎡造瓦葺平屋建他

内 現金 995,630 円也
 所在地 神奈川県中郡大磯町虫窪字大下田2-4番地
 木造7㎡造瓦葺平屋建他

内 現金 5,105,820 円也
 所在地 神奈川県中郡大磯町虫窪字大下田2-4番地
 木造7㎡造瓦葺平屋建他

内 現金 367,424 円也
 所在地 神奈川県中郡大磯町虫窪字大下田2-4番地
 木造7㎡造瓦葺平屋建他

内 現金 33,000,000 円也
 所在地 神奈川県中郡大磯町虫窪字大下田2-4番地
 木造7㎡造瓦葺平屋建他

内 現金 30,413 円也
 所在地 神奈川県中郡大磯町虫窪字大下田2-4番地
 木造7㎡造瓦葺平屋建他

内 未払金 4,002,902 円也
 所在地 神奈川県中郡大磯町虫窪字大下田2-4番地
 木造7㎡造瓦葺平屋建他

内 預り金 4,311,427 円也
 所在地 神奈川県中郡大磯町虫窪字大下田2-4番地
 木造7㎡造瓦葺平屋建他

内 設備資金借入金 195,650,000 円也
 所在地 神奈川県中郡大磯町虫窪字大下田2-4番地
 木造7㎡造瓦葺平屋建他

内 引当金 53,500,000 円也
 所在地 神奈川県中郡大磯町虫窪字大下田2-4番地
 木造7㎡造瓦葺平屋建他

3 差引正味財産 金 702,584,142 円也

2 負債の部 金 257,464,329 円也